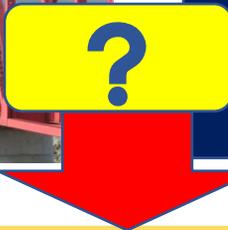


市民キュレーション講座 全国から受講できます

公文書利用で始める地域学講座



地域の歴史や特性
あなたが問いを立て探求

公文書等から探り、探求成果をネット展示します。

講座プログラム

ビデオ会議Meet利用
毎回13:30~16:30

第1回 2月6日(土) 一次資料から地域をひもとく

講座のねらい/一次資料から地域をひもとく 前川道博(長野大学教授)
上田市公文書館・概要と収蔵庫見学 上田市公文書館職員
上田小県の近現代史へのいざない 小平千文(上田小県近現代史研究会会長)
探求テーマへの助言Q & A 前川道博/小平千文/公文書館職員

第2回 2月13日(土) 地域の資料探しと成果物のネット展示

探求テーマに沿った資料探しと助言Q & A 前川道博、公文書館職員
探求の成果物をネットに展示する方法 前川道博

第3回 2月20日(土) 調査記事の書き方+資料の分類整理

調査記事の書き方とアドバイス(投稿実習) 前川道博
資料の分類とメタデータ 井上透(岐阜女子大学教授)
途中経過の投稿記事をみんなで見合うQ & A 前川道博/井上透

第4回 2月27日(土) みんなで地域探求ネット展示披露会

著作権と資料の権利処理 久世均(岐阜女子大学教授)
受講者のキュレーション成果披露 それぞれの受講者
講評コメント 前川道博/小平千文/久世均

協力 上田市公文書館



収蔵の公文書活用



あなたが主体

地域を知りたい
歴史を探りたい
公文書を見たい
...



探求したいテーマを申込時にお知らせください。

<https://d-commons.net/uedagaku/>

信州上田デジタルマップ

キュレーション(調査と資料整理)の成果物をネット展示

ネット展示(例)「道路・鉄道敷設と当時の上田小県」



マイサイト

開設無料

ネット展示 公文書等地域資料デジタルアーカイブ

併せて公開



地域デジタルcommons信州上田学サイト「信州上田デジタルマップ」のマイサイトにあなたの成果物を講座終了後も継続して公開し続けることができます。生涯学習、図書館や学校などの地域学習支援などにもお役にてください。

◆は@に置き換えてください

【受講申込】長野大学地域づくり総合センター TEL:0268-39-0007 renkei◆nagano.ac.jp

(ネット講座のため全国から受講可能です。御自宅・職場からのネット受講が基本です。)

お名前、市町村名、メールアドレス、TEL、探求希望テーマをお知らせください。

【申込期限】2021年2月4日(木) 【受講料】無料

【講座内容のお問合せ】前川道博(長野大学/講座担当) TEL:090-2270-5074 maekawa◆nagano.ac.jp

【上田市公文書館のお問合せ】上田市公文書館 TEL:0268-75-6682 kobunshokan◆city.ueda.nagano.jp

【想定受講生】公文書利用・地域史に関心がある市民、図書館員、学芸員、教員、中高大院生など

【定員】20名程度(ネット受講のため人数制限は設けません)

【企画・主催】公立大学法人長野大学 【共催】岐阜女子大学

【後援】NPO法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構、デジタルアーカイブ学会人材育成部会

この講座について
詳しくはウェブで



https://d-commons.net/uedagaku/category_top.php?cat=30

受講を希望される方へ

受講を希望される方へ

★本講座は受講される方それぞれの関心事から地域に関する「探求テーマ」をあらかじめ設定していただき、テーマに沿った地域のキュレーションをします。受講申し込みの際には取り組みたい「地域の探求テーマ」をあらかじめお伝えください。当初はざっくりした内容のものでかまいません。事後のテーマ変更は可能です。

★本講座は、上田市公文書館（対象地域：長野県上田市）の収蔵資料を利用することを選択肢の一つとして進めますが、参照資料はそれ以外のものでもかまいません。ただし、上田市公文書館以外の公文書館等で資料を利用する場合の閲覧申請、ネット公開許諾申請は受講者それぞれが行ってください。

★本講座の実施内容は映像収録し事後もネット公開します。受講される方はあらかじめその点をご了解いただき、受講していただきますようお願いいたします。

キュレーション型学習

地域の一次資料を直に調べ、地元がどんな地域なのかを**キュレーション**します。教わる学びから探求型の学びへ。自身取り組みたい研究テーマを探求する知識循環（ナレッジリサイクリング）型の実践学習です。年齢や職能に関わりなく知的探求をしたの方に受講していただけます。図書館員・学芸員・教員のリカレント学習の機会としてもご利用いただけます。上田市に限らず、全国どこからでも受講していただけます。

キュレーションとは？

特定のテーマで情報を集め知識化したことを公開展示(アウトプット化)すること。

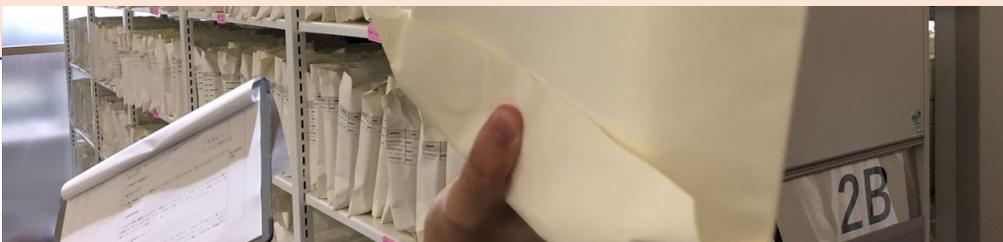
地域の歴史や特性など何を裏付け明らかにしたいのか。探求テーマに沿い、一次資料から事実・真実を引き出して探求した成果を公開展示します。その情報源として公文書館等の地域資料を活用します。参照資料はネット公開してキュレーションの展示物、情報源のエビデンスとします。学習成果はデジタルコモンズのマイサイトに公開展示します。全国・世界から参照できる情報源となります。

公文書館資料を活用した探求を！

上田市公文書館 <https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kobunshokan/>
2019年開館。明治以後の旧行政文書を中心に大量の資料が保存されています。収蔵資料は「目録検索システム」で事前にチェックができます。

<https://kobunshokan.city.ueda.nagano.jp/>

本講座では受講者の探求テーマに基づき、閲覧希望のあった資料を本講座担当スタッフ(教員・学生)がデジタル化し受講者にお伝えします(1人1点)。それらの資料は長野大学前川研究室が公文書館に対し「掲載等承認申請」を行いネット公開します。受講者はそれらの資料を活用し、思う存分キュレーションに取り組んでください。キュレーションでは、資料の全てまたは一部を加工したり解説を加えたりして御自身のマイサイトに成果を公開できます。



そもそも「公文書」って何？

上田市公文書館

2019年9月開館。上田市丸子郷土博物館に併設。明治以降の公文書を収蔵。公文書は上田市の歴史を解き明かす「一次資料」です。誰でも一次資料を直接手に取って資料の閲覧・撮影ができます。



詳しくはウェブで

→<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kobunshokan/>

公文書とは？

明治以降に役場/市役所が作成した行政文書です。上田市公文書館には市制町村制施行(明治22年=1889年 下表参照)以前の行政文書も収蔵されています。一部、公文書以外の文書も収蔵されています。最古は明治元年(1868年)。知られざる地元の歴史を解き明かす第一級の情報源です。



▼上田市の変遷（年代ごとに異なる町村）

明治22年 4月1日	明治22年～ 大正15年	昭和元年～ 昭和29年	昭和30年～昭和39年	昭和40年～ 昭和64年	平成元年～	現在
2. 浦里村			浦里村			上 田 市
3. 室賀村			昭和32年3月31日 川西村	昭和48年4月1日 上田市に編入		
4. 泉田村			昭和31年9月30日 上田市に編入			
5. 神川村			上田市	上田市		
6. 塩尻村		昭和29年4月1日 上田市に編入				
7. 川辺村		上田市				
8. 城下村	大正10年9月10日 上田市に編入		上田市	上田市		
9. 上田町	大正8年5月1日 上田市					
10. 神科村			昭和32年8月1日 上田市に編入			
11. 豊里村			昭和31年9月30日 豊殿村	昭和33年4月1日 上田市に編入		
12. 殿城村						
13. 東塩田村		昭和24年9月1日 東塩田村			平成18年3月6日 上田市	
14. 富士山村						
15. 西塩田村			昭和31年5月1日 塩田町	昭和45年4月1日 上田市に編入		
16. 中塩田村						
17. 別所村						
18. 丸子村	大正元年10月30日 丸子町					
19. 東内村		昭和29年10月1日 丸子町に編入	丸子町			
20. 西内村				丸子町		
21. 依田村			昭和30年4月1日 丸子町に編入			
22. 長瀬村						
23. 塩川村			昭和31年9月30日 丸子町に編入			
24. 長村						
25. 傍陽村			昭和33年10月1日 真田町	真田町		
26. 本原村						
27. 武石村						

上田市の変遷

現在の上田市は明治以降、合併に合併を重ねて現在に至りました。年代によって各地域の行政区画は異なります。

明治22年以前は江戸時代の村（現在の大字に相当する区域）が概ね町村となります。

明治地元の地元がどんな町村であったのかなどを知るだけでも「地域史」の発掘につながります。

公文書目録検索

上田市公文書館の「目録検索システム」で地元の町村やどんな資料があるかなどを調べてみませんか？



公文書目録検索

→<https://kobunshokan.city.ueda.nagano.jp/>

「市民キュレーション」してみませんか？

自ら考え、調べ、知識化したことを公開展示する学びです。

学芸員の仕事(キュレーション)と区別するためにこの講座では「市民キュレーション」と呼びます。

キュレーション型学習

問いを立て



一次資料は発見の宝庫
行動して現地から探る

知識に高めて



新しい発見
探求成果をネット公開

皆と分かち合う



多くの人が役立てる
未長く後世に残せる

情報源が一次情報だから「オリジナルな研究」に！

本当に面白がれる学びで
「地域学」にチャレンジしよう！



専門家も市民もお互いに
知識をgive& takeする時代

▼いろいろな活動に役立ちます
興味あるものの探求に(生涯学習)
地域を捉え直す学びに(地域学習)
地域の資料を皆で共有する活動に
未来の学校の学びに(GIGAスクール活用)
未来の図書館づくりに
未来の住民自治活動に
etc.

ふり返ってみればこれまでは…

何かと大変だった調べと発表

発表形態

ポスター作成大変
作っても残せない

プレゼンその場限り
もっと広めたいのに

学習方法

資料どこにあるの？
書籍は読むのも大変

ノートと手書き
苦しく蓄積しにくい

せっかく調べたのに「受け売り」になってしまう！

地域資料を活かしたキュレーションフロー

ステップ1

動機テーマから資料を調べる



道路・鉄道敷設とその当時の社会は？

1921年開設

「別所線」などで検索

「別所線」で検索

「鉄道敷設」で検索

No.	路線名	開業年月	開業日	路線種別	路線長	駅数	備考
1	別所線	1921	1921.11.14	単線	11.4	11	別所線は、1921年11月14日に開業した。当初は、別所駅と別所南駅の間を結ぶ短線であった。その後、徐々に延長され、現在の路線となった。
2	別所線	1921	1921.11.14	単線	11.4	11	別所線は、1921年11月14日に開業した。当初は、別所駅と別所南駅の間を結ぶ短線であった。その後、徐々に延長され、現在の路線となった。
3	別所線	1921	1921.11.14	単線	11.4	11	別所線は、1921年11月14日に開業した。当初は、別所駅と別所南駅の間を結ぶ短線であった。その後、徐々に延長され、現在の路線となった。
4	別所線	1921	1921.11.14	単線	11.4	11	別所線は、1921年11月14日に開業した。当初は、別所駅と別所南駅の間を結ぶ短線であった。その後、徐々に延長され、現在の路線となった。
5	別所線	1921	1921.11.14	単線	11.4	11	別所線は、1921年11月14日に開業した。当初は、別所駅と別所南駅の間を結ぶ短線であった。その後、徐々に延長され、現在の路線となった。



調べたい資料を選定(受講者お一人1点に限定)

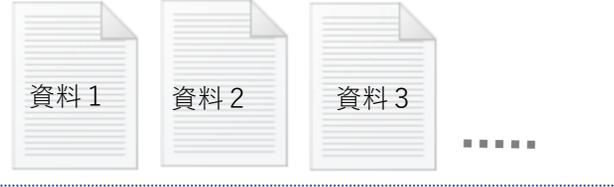
番号	請求番号	歴史公文書年の名称
1	01-100-01-120	別所線開通記念式典資料 (明治26年刊行)
2	01-100-01-120	鉄道 別所 河川 橋梁 (明治31年刊行)
3	01-100-01-121	村会書 (大正6年刊行)
4	01-100-01-122	村会決議書 (大正8年刊行)
5	01-100-01-123	議事書 (大正8年刊行)

本講座担当者に資料リスト送付
講座担当が公文書館で閲覧代行

ステップ2

資料を踏まえ探求テーマ設定

デジタル化し内部共有(この時点では公開しない)



各資料を詳しく調査する

ステップ3

探求テーマを明らかにする

- ・獲得資料、他の資料も調べて記事にする。
- ・探求の成果を記事にし、マイサイトに公開展示する。

キュレートできるテーマを再設定



キュレーション成果 (資料と探求成果公開)



探求を深め、知見・結論を導出



疑問、考察

ねらい、まとめのキュレーション記事

インターネット公開

キュレーション成果のネット公開

アウトカム(成果)はネットに公開し多くの人々のために役立てられます。

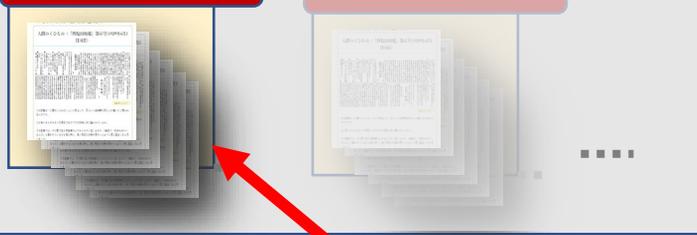
信州上田デジタルマップ

<https://d-commons.net/uedagaku/>



あなたのキュレーション

Bさんのキュレーション



親サイトにも再掲して公開

あなたのマイサイト

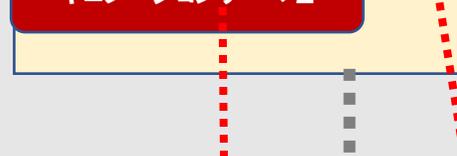
<https://d-commons.net/uedagaku/あなたのID>



キュレーションテーマ1 「敷設当時の別所線」



キュレーションテーマ2



講座受講後も継続してキュレーション成果を追加し後世にまで残すことができます。

分類、メタデータを付加して近い将来パブリッシュする

近い将来、自動パブリッシュ

さらに投稿

オープンデータとして再利用・転載



ポータル系サービス

Japan Search

JAPAN SEARCH 検索キー

わが国の分野横断型統合ポータルサイト

信州サーチ

SHINSHU KNOWLEDGE SQUARE

長野県の検索サービス

SNS系サービス

Twitter

Instagram

Facebook

Wikipedia



任意のサービスやサイトなど

あなたの成果を利用したい人がさらに活用します

(参考情報) 上田市公文書館収蔵資料の閲覧・公開手順

凡例

受講者の実作業

上田市公文書館の収蔵資料を閲覧し公開するには次の手続きをします。
(「上田市公文書館管理規則」に従った手続きが必要です。)
本講座では長野大学前川研究室が受講者に代わって手続きをします。

ステップ1

ネットで(自宅)



上田市公文書館
目録検索システム

任意キーワードで検索



①目録検索

①'資料選定

②閲覧申込

閲覧申請書

所定の様式により資料閲覧申請をする。
1回につき最大5件まで。
申請書はメール添付またはFAXで送付
※該当資料は公文書館が閲覧に供せられるかを事前に審査する。そのため申し込んでみずには閲覧できない。

③閲覧審査

閲覧許可通知

ステップ2

公文書館



資料を出してもらい閲覧する。

④閲覧

⑤撮影



画像

デジカメで資料を画像に記録する。
基本的に見開き単位に全ページを撮影する。

ステップ3

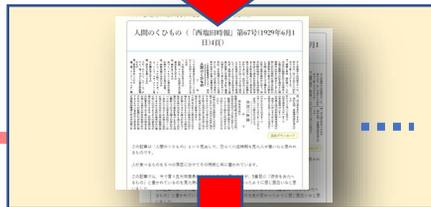
自宅

⑥データ作成



撮影した画像をネット公開可能なデータとして作成する
形式：PDF、JPEG等

⑦データ共有化



データをマイサイトに記事として「**限定公開**」で格納する
メタデータを記述する

ステップ4

自宅

⑧公開承認申込

公開承認申請書

所定の様式により公開承認申請をする。
申請書はメール添付またはFAXで送付
※承認までは10日程度かかる。

⑨公開承認審査

公開許可通知

⑩ネット公開

ネット公開する

マイサイトの「限定公開」記事を「**公開**」に変更する